

「防災ピクニック®」で楽しく備える

普段備えている防災グッズ、もしもの時に「使い方がわからない」ということがないように、使ってみることが大切です。また、備えている非常食を使ってみることも大切なことです。

NPO法人M-plug (Mプラグ) が提唱している「アクティブ防災」の中に「防災ピクニック®」という家族イベントが紹介されています。備えている防災グッズを持ち出して、近所の公園にピクニックに出かけるというものです。

防災リュックを持って、お弁当には非常食として備蓄しているもの、そんな避難時のリハーサルを兼ねたピクニックです。公園までの道中では、倒壊しそうな建物やブロック塀など危険個所や安全に避難できるルートの確認、また、防災リュックの重さは持ち歩くのに適当かなどを確認することもできます。非常食を実際に外で食べてみると色々と気づくこともあります。

「食べるときに食器など必要ではないか」、「持ち出した量は適切か」そして「家族みんなが好む味であるか」も重要なポイントです。他にも食べるものによって必要な飲み物の量も知ることが

できたりなど、やってみなければわからなかったことが見えてきます。

行楽にも最適なこの季節、「防災ピクニック®」をイベント感覚で楽しみながら普段の備えを見直してみてはいかがでしょうか。

〈 防災士 荻野 勝也 〉

